

自分で 買い物 しよう!!



足羽更生園では、利用者の方による活動の一環として買い物支援を行っています。ジュースを購入する際にはご本人が財布を持って自動販売機でジュースを購入したり、また、外出先ではほしい物を選んでご本人で購入したりできるように支援しています。今回は買い物支援にかかわる取り組みやその成果についてご紹介します。



当時を振りかえって

利用者の方との外出は買い物支援に取り組み以前からありました。衣類購入のときに商品の選択や、レジでのお金の支払いなどは、職員が代わりに行っていたため、お金を払うことを意識している利用者の方は、あまりいませんでした。

平成10年に自動販売機を園内に設置したことをきっかけに、園でもできることとして、毎日の自動販売機支援の中で自分の好きなジュースを買うという取り組みを始めました。そして何事においても利用者の方が選択できる機会を増やせるよう、コンビニ外出や衣類購入外出などに力を入れました。

それでも、お金を払って自分でほしい物を購入する機会が少なく、お金を払わなければほしいものがもらえ

ないという決まりや並ぶルールがわからず、大きな声を出してお店に迷惑をかけることもありました。

またこのジュース支援については、家族からも「私たちは仕事の行き帰りにコーヒー等を飲むことが多い。この子らにも毎日の楽しみをあげてほしい」との要望もあつてのことです。

最初はお金を落としたり、他の利用者の方に盗られてしまったり、他の方が順番を横入りし、順番を取られた方は怒ってしまうなどのトラブルが絶えませんでした。



現在、足羽更生園では利用者の方の特性に応じて3か所の活動拠点に分かれて日中活動を行っています。(ドリーム班、羽生の郷班、ワンステップ班)それぞれの現場で買い物支援に携わる職員に利用者の方の成長や成果を聞いてみました。

これにしようー



利用者の方は毎日の

ジュース購入やおやつ販売をとても楽しみにしています。

特に昼食後ジュース購入

の時間になると「ジュースどの職員と行くの?」「僕1番ね」と伝えてきます。

以前には買ったらその場で

すぐ飲んでしまう方が多かったのですが、今では利用者の

方1人ひとりがお金を職員から受け取り、選んで購入

購入後は活動場所に戻って

からゆつくり飲むようになって

西田支援員

やっと買ったー



1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

どれにしようかなー



安田支援員

日中活動場所の羽生の郷では「がんばったシール」がたまるとごほうびにコンビニで買い物を行います。レジで選んだ商品をスタッフの方とやり取りしながら購入します。商品を手に取り笑顔になつている時が印象的です。また、コンビニでの買い物物が、作業で「がんばったシール」をためる意欲にもつながっています。

これがいいの!



塚谷支援員

日中活動場所のワンステップでは、作業終了時に屋外の自動販売機までジュースを買いに行ったり、買い物学習・社会体験の「環」としておやつ時間の食べるお菓子をお店に買いに行ったりしています。ほしい物を選ぶのに時間がかかる方もいらつしやいますが、自分の好みの商品を迷いながら選び、お金を自販機やレジまで持って行き購入しています。

他のお客さんがいても、落ちて着いて順番を守り、お店の方にお金を渡し、お釣りを受け取るなどの買い物の動作ができるようになってきました。

おやつ販売支援は、入所利用者の方の余暇として提案したものでしたが、5年程前日中活動への参加を拒否される方が数名いらつしやったことから、これらの方の日中活動参加のきっかけにできないかと活動プログラムに「買い物学習」としてとり入れました。

おやつ販売の効果は絶大で、初回から日中活動利用者の全員参加を達成。以降必須プログラムとなり現在に至ります。「自分で好きなものを選ぶ」「順番を待つ」「財布からお金を出しておやつと交換する」という流れを学んできました。

今では外出先の商店でのおやつ購入時には、予算内に商品を絞り込める利用者の方も現れました。将来は全員が作業収益金を得て、その収益金で買物することが目標です。

主任 五島健一